

本日ここに、平成30年3月横芝光町議会定例会をお願い申し上げましたところ、議員各位には御多忙の折にもかかわらず、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

本年度も、残すところあと僅かとなりましたが、おかげをもちまして、計画いたしました諸事業は、おおむね順調に進捗しており、改めて議会をはじめ、町民の皆様の御理解と御協力に深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、極寒の中の2月9日、第23回冬季オリンピック・ピョンチャン大会が開催され、各種競技で熱戦が繰り広げられました。

日本選手団は13個のメダルを獲得し、1998年、長野大会のメダル獲得数10個を上回り、冬季オリンピックでは過去最多のメダル数となりました。

スピードスケート女子500メートル、また、女子団体追い抜きでは、オリンピック新記録で金メダルを獲得するなど、ベテラン、若手の選手がともに活躍したすばらしい大会となりました。

2020年には、東京でオリンピックが開催されます。引き続き日本のスポーツ選手の活躍を見守ってまいりたいと考えております。

それでは、議会開会にあたり、平成30年度の施政方針を述べさせていただきます。

### **【予算案の概要】**

はじめに、平成30年度当初予算案の概要について申し上げます。

まず、国の動向であります。平成30年度予算においては、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現に向け、成長と分配の好循環を確立し、日本経済全体の持続的拡大を目指すこととしており、これまでの歳出改革の取組を強化しつつ、「人づくり革命」や、「生産性革命」などの重要課題に重点を置き、必要な予算措置を講ずることを基本方針とし、編成された国の一般会計予算案の総額は、過去最大の97兆7,128億円となりました。

本予算案には、「人づくり革命」関連で、待機児童11万人分の保育所等運営費などが計上されたほか、社会保障分野では介護保険の保険者機能の強化等による自立支援・重度化防止に向けた取組の推進、教育分野では新学習指導要領の円滑な実施や学校における働き方改革に向けた、小学校英語の専科教員など学校の指導・事務体制の強化、農業分野ではコメの直接支払交付金の廃止に伴う、水田活用交付金と農業農村整備事業の増額など

が盛り込まれており、いずれも町の行財政運営に大きく影響するものでありますので、予算成立の動向を注視し、適確に対処してまいり所存であります。

このような状況のもと、当町の新年度の予算規模は、一般会計が103億3,500万円、国民健康保険特別会計が30億1,500万円、後期高齢者医療特別会計が2億7,800万円、介護保険特別会計が21億2,700万円、農業集落排水事業特別会計が5,270万円、東陽食肉センター特別会計が1億9,000万円、病院事業会計が収益的収支では15億6,365万円、資本的収支では、収入が1億3,277万9千円、支出が2億2,982万6千円となりました。それぞれ本議会に提案させていただきましたが、病院事業会計を除く6会計の当初予算の総額は、159億9,770万円で、今年度当初予算と比較すると、率で0.7%、金額で1億610万円の増額予算となりました。

また、国の平成29年度補正予算に伴い、県営基盤整備事業及び担い手確保・経営強化支援事業に係る事業費を補正予算として提案させていただきましたが、いずれも繰越しにより新年度において実施することとなりますので、議員各位の御理解をお願い申し上げます。

それでは、次に主な事業について申し上げます。

### 【総務課】

はじめに、総務課関係についてであります。昨年8月8日に人事院から、また10月13日に千葉県人事委員会から、それぞれ国家公務員、千葉県職員の給与等に関する勧告が行われました。

いずれの勧告も、民間給与との較差等に基づく平成29年度における給与改定を内容としております。

人事委員会が存在しない当町といたしましては、この勧告を尊重する必要がありますことから、平成29年度における給与改定に関連する条例改正案を本議会で御審議いただきますよう提案させていただいたところでございます。

なお、本条例改正案は、例年ですと12月議会定例会に提案しておりますが、本年度は衆議院議員選挙が10月22日に執行されたことに伴い、国会での人事院勧告関連法案の成立及び法律の公布が、それぞれ12月にずれ込みましたことから、本議会での提案とさせていただいたところでございます。

## 【企画財政課】

続いて、企画財政課関係についてであります。2月19日に空港関連9市町の首長による会議である「成田空港圏自治体連絡協議会」が開催され、1月26日の協議会で取りまとめた要望に対する回答が、国土交通省・千葉県・成田国際空港株式会社からございました。その内容等につきまして、2月22日の議会議員全員協議会、そして2月28日と3月1日の住民説明会で説明をし、議論をしてきたところでございます。それらを踏まえて、本日の定例議会終了後、議会議員全員協議会におきまして、「成田空港の更なる機能強化」に対する町としての方向性を協議させていただきたいと考えております。

成田空港の更なる機能強化という重要問題について、今後とも議会と執行部が一体となって対応していきたいと考えますので、議員の皆様には引き続き御理解・御協力をお願い申し上げます。

次に、第2次横芝光町総合計画の策定につきましては、12月議会定例会で基本構想の承認をいただきましたが、基本計画についても1月29日付けで総合計画審議会から答申をいただき、2月22日の議会議員全員協議会で説明をさせていただいたところでございます。現在、基本計画に掲げた施策を進めるための具体的な事業を定める実施計画の取りまとめをしておりますが、平成30年度からは、新たにまちづくりの最上位計画となる「第2次横芝光町総合計画」の将来像である「人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光」の実現に向けて邁進してまいります。

次に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるベリーズのホストタウン関係につきましては、事前キャンプ受け入れに関する基本合意書の締結式を1月31日、ベリーズ稲葉名誉総領事と日本ベリーズ友好協会の理事で株式会社畔蒜工務店社長の畔蒜毅氏を迎え、川島議長、齋藤副議長にも御臨席を賜り、行うことができました。事前キャンプでは、ベリーズの選手や関係者の宿泊施設、ふれあい坂田池公園の陸上競技場を練習場として提供するほか、選手が競技に専念できるよう、できる限りの応援をしてまいりたいと考えております。

また、締結式に先立ち、国へホストタウンの登録申請もしてまいりましたが、2月28日発表の第6次登録で正式に登録されましたので報告させていただきます。今後、ベリーズの応援をしながら東京オリンピック・パラリンピックを楽しみ、末永い友好関係を築くための交流事業を展開してい

きたいと考えておりますので、議会を始め、町民の皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」の建設工事につきましては、順調に進捗しており、3月20日に竣工する見込みで、竣工後、備品等の搬入を行い、4月27日の開館を目指し準備を進めているところでございます。本施設のコンセプトどおり、初めて当町を訪れる人にはおもてなしの空間、毎日駅を利用する人々には待ち合いや送迎の場であり、住人にはいつも気楽に立ち寄れる駅前のヨリドコロとして、町の観光情報、地域資源情報等の発信や来訪者や町民相互の交流を図り、駅前のにぎわいの創出と活力ある地域の形成の拠点としてまいりたいと考えております。

本議会に、指定管理者の指定及び関連予算を提案させていただきましたので、よろしくようお願い申し上げます。

### 【産業振興課】

続いて、産業振興課関係についてであります。農業行政関係につきましては、全国的には平成29年産米は3年連続超過作付けが解消されたことにより米価回復傾向となりました。

平成30年産米からは、約50年間続いた米の生産調整が廃止となり、行政による生産数量目標の配分に頼らず、生産者が自らの経営判断・販売戦略に基づいて需要に応じた生産をすることとなりました。

しかしながら、国の需給見通しでは、食生活の変化や高齢化等により、米の需要量は毎年8万トンも減少しており、需給バランスと米価安定のためには、引き続き米の生産調整が必要なことから、各稲作農家の皆様には、平成30年産の「米の生産目安」を示させていただいたところでございます。

平成30年産米においても、稲作農家の所得維持に向け、引き続き国・県の制度に加え町奨励金による飼料用米等の戦略作物の推進に努めてまいります。

また、農業従事者の高齢化が進むとともに後継者不足、加えて農家数の減少、耕作放棄地の増加など、人と農地の問題解決に向け、集落での話し合いの支援等「人・農地プラン」の更新と農地中間管理事業の活用を推進するとともに、地域農業の中心的経営体や新規就農者に対する支援等に努めてまいります。

次に、商工観光事業関係につきましては、元旦の初日の出イベントでは、両海岸に合わせて3,100人が訪れ、また、今月11日まで「坂田城跡

梅まつり」が開催されているところでございます。

町は貴重な観光資源の有効活用を図るため、周辺環境整備に努め、横芝光町観光まちづくり協会においては、商工会及び各種団体と協力して事業の充実と情報発信等積極的に行っているところでございます。観光振興の推進や、町の活性化につながる観光事業展開には、今後も連携を密に事業の充実を図ってまいります。

### 【都市建設課】

続いて、都市建設課関係についてであります。合併以来、町の一体性の向上を図るため、東西方向の連絡道路を中心に幹線道路網の整備を進めており、平成30年度からは、宮川地先古屋地区において、交通量も多く改良要望の多かった町道I-10号線道路改良事業の用地買収に入る予定でございます。

また、町道I-14号線道路改良事業につきましては、木戸地先長塚地区の県道横芝停車場白浜線の交差点において、事業主体である山武土木事務所が今年度から交差点改良工事を進めており、平成30年度に完成する予定と伺っておりますので、町も県道に接続するまでの道路工事費を予算計上させていただきました。

また、本路線が開通すると交通量の増加が見込まれることから、同路線の北清水地先の概略設計業務委託料も併せて新年度予算に計上させていただきました。

このほか、町道の総延長758kmの内、約78%に当たる592kmが舗装済みであり、そのほとんどの路線が、整備後20年以上経過し経年による舗装の劣化・損傷が進んでいることから、舗装修繕計画を策定し、修繕事業を計画的かつ効率的に行うための予算を計上させていただきました。

次に、空き家問題につきましては、人口減少、少子高齢化が進展する中、様々な形で管理不全な建物が年々増加していることから、横芝光町空家等対策協議会を設置し、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に関する施策の適切な実施を図ってまいりたいと考えております。

つきましては、本議会に協議会設置に係る条例案を提案させていただきましたので慎重審議の上、可決御承認くださいますようお願い申し上げます。

### 【福祉課】

続いて、福祉課関係についてであります。近年、我が国では総人口が減少している中で、平均寿命が延伸し、高齢化が急速に進行しております。

また、団塊の世代の全てが75歳を迎える2025年度には、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者がさらに増加し、地域社会における高齢者を取り巻く環境が大きく変容することが見込まれております。

当町では、全国平均よりも早く高齢化が進展しており、2017(平成29)年12月末の高齢化率は34.4%に達し、2025年度には38.0%になることが見込まれております。高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるために必要な支援体制の充実に向けて、今後さらに工夫を重ねながら取り組んでまいります。

本年度は、介護保険運営協議会での審議をいただきながら、平成30年度からの3年間を計画期間とする第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定を進めてまいりました。

先日の議会議員全員協議会で説明をさせていただきましたとおり、第7期計画期間中の介護保険料につきましては、基準額を据え置きとする方針でございます。

今後も介護保険サービスの充実及び介護予防事業等の一層の推進を図り、併せて、介護保険財政の健全運営に努力してまいります。

#### **【健康こども課】**

続いて、健康こども課関係についてであります。平成29年4月1日に、児童福祉法の一部を改正する法律が施行され、市町村は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置に努めなければならないこととされました。

このことから、当町では、平成30年度、31年度を準備期間として、3年後の開設を目指し、健康づくりセンター「プラム」内に設置すべく、改修するための設計費用を新年度予算に計上させていただきました。

また、昨年度と今年度の2年間で策定いたしました「健康増進計画及び自殺対策計画」をもとに、地域における健康づくりを推進してまいりたいと考えております。

#### **【教育課】**

続いて、教育課関係についてであります。平成28年7月に発足した学校適正配置等検討委員会は、先月の19日に最終の会議が開催され、今月中には検討結果の報告を受ける予定となっております。

検討委員の皆様には、この間、熱心な協議をしていただき感謝申し上げます。検討結果につきましては、十分尊重し必要に応じて町の学校適正配置に取り組みたいと考えております。

また、議員各位に賛同をいただきました横芝小学校の改築事業につきましては、事業の第一歩として、国の助成を受けるために必須条件となる現校舎の耐力度調査に係る費用を新年度予算に計上させていただきましたので、御理解くださいますようお願い申し上げます。

### 【社会文化課】

続いて、社会文化課関係についてであります。昨年9月から行ってまいりました横芝ふれあい坂田池公園テニスコートの全面的な改修工事が2月に完了いたしました。

3月1日から利用を開始いたしましたが、施設整備が整いましたので、今まで以上に町民の皆様にご活用いただきたいと考えております。

次に、文化会館の空気調和設備機器が年数経過により、機能が著しく低下しているため、機能を回復すべく設計監理費と工事費を新年度予算に計上させていただきましたので、御理解くださいますようお願い申し上げます。

### 【東陽食肉センター】

続いて、東陽食肉センター関係についてであります。最近の畜産情勢につきましては、全国的には牛・豚ともに小規模飼養農家が大きく減少しているものの、一戸当たりの経営規模拡大により平成29年度の飼養頭数は若干の増加傾向に転じております。

千葉県においても、豚の飼養農家戸数は大幅な減少傾向にありますが、飼養農家の大規模化が進んだことにより、飼養頭数は増加傾向にあります。

当センターの本年1月末現在のと畜頭数は、昨年同期と比較して豚が1,644頭の減、率でマイナス1.5%の105,487頭となりました。

また、牛は昨年同期と比較して172頭の減、率でマイナス5.9%の2,727頭となりました。

いまだに終息に至っていない豚流行性下痢（PED）等による、と畜頭数減少に加え、施設の老朽化に伴う維持補修に係る経費は増加傾向にありますが、独立採算制を堅持していくとともに安定した経営を目指し、経費削減に努めるとともに、今後も引き続き関係者の皆様と協力しながら努力していきたいと考えております。

### 【東陽病院】

最後に、東陽病院の運営状況について御説明申し上げます。

運営状況でございますが、1月末現在の延べ患者数は、外来では33,086人と昨年より65人程減少しておりますが、入院につきましては2

0, 695人、病床利用率は67.6パーセントと、昨年と比較して患者数で906人、利用率で2.9ポイントの増加であり、医業収益全体としても昨年度と比較して、増収となる見込みでございます。今後、更なる安定運営と地域住民に愛される病院として良質な医療を提供してまいります。

以上、平成30年度における施策の一端を述べさせていただきましたが、職員一丸となり計画事業を効率的かつ効果的に推進してまいりますので、議員各位には、更なる御指導・御協力を賜りますようお願い申し上げます。